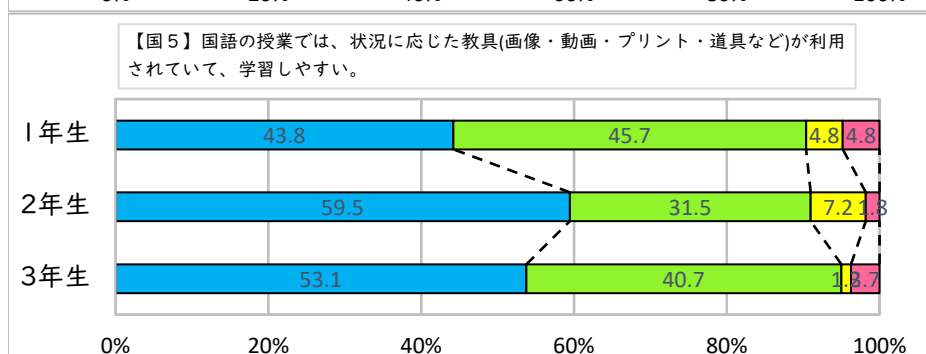
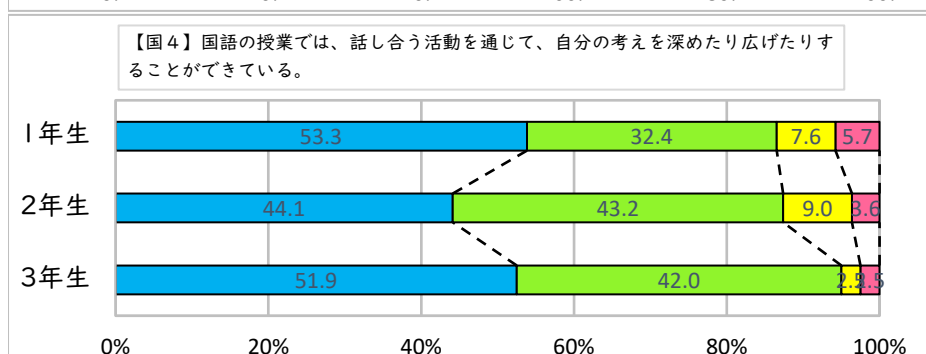
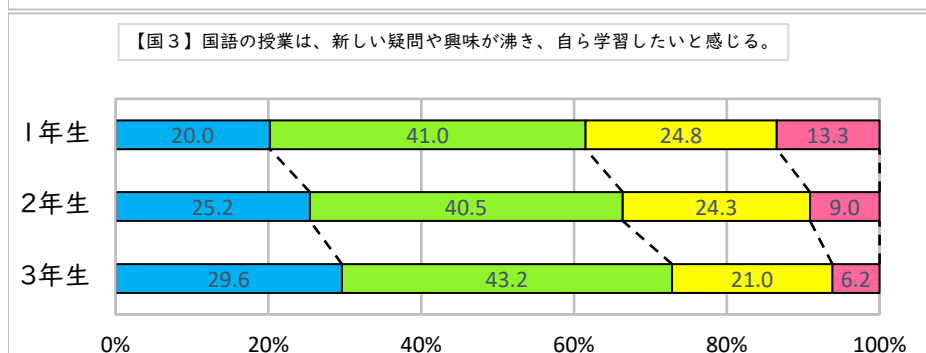
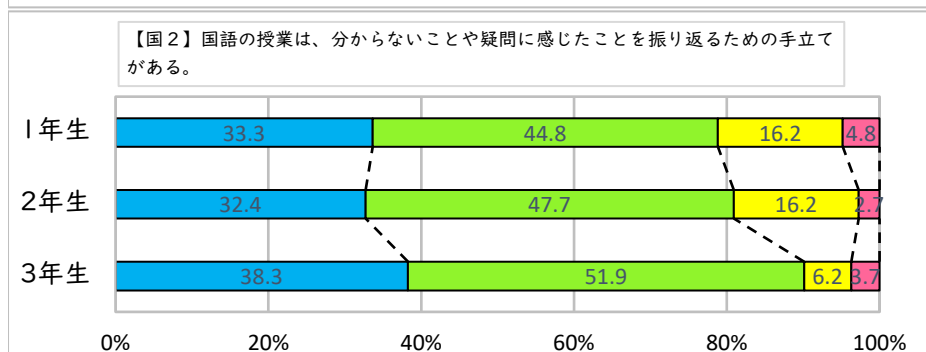
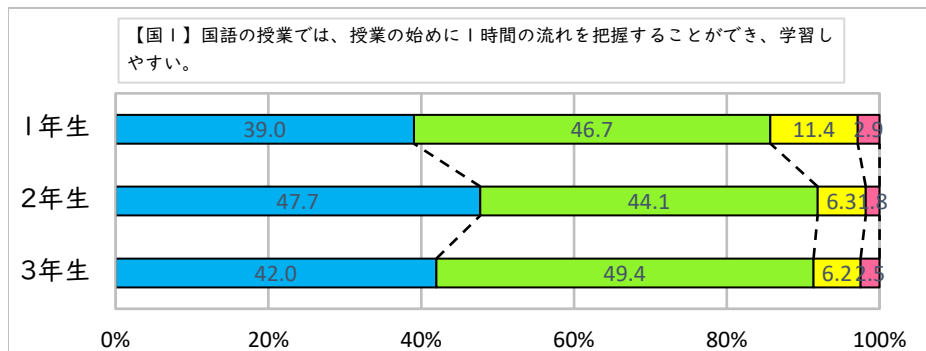


令和 5 年 7 月
【生徒授業】学校評価アンケート結果 《国語》

調布市立第八中学校

1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない



《成果》

ICTやプリント、黒板に掲示する教材等を積極的に使用したことによって【国1、5】の項目における肯定的な回答が大半を占めたと考えられる。

《課題》

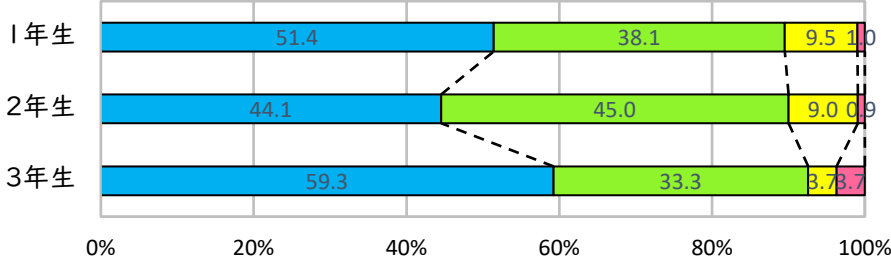
【国3】の項目では、生徒が自ら課題を発見できる授業展開の工夫が必要だと感じる。

《今後の取組》

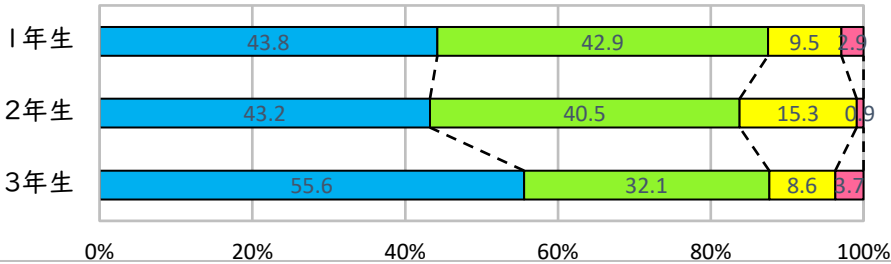
生徒の課題発見能力を育ていくとともに、生徒の中に生まれた疑問を課題として昇華し解決していくことができる授業づくりを目指していく。
 課題発見から解決までの思考手順を可視化していく。

1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない

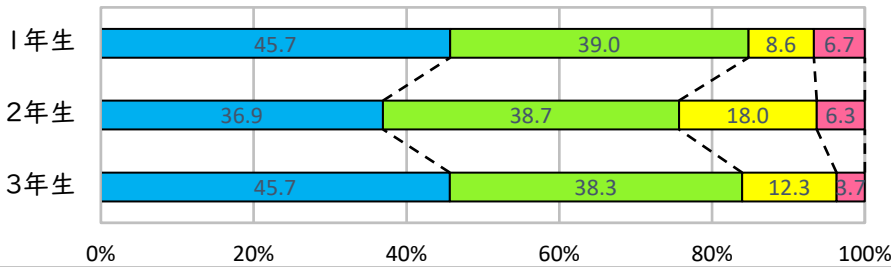
【社1】社会の授業では、授業の始めに1時間の流れを把握することができ、学習しやすい。



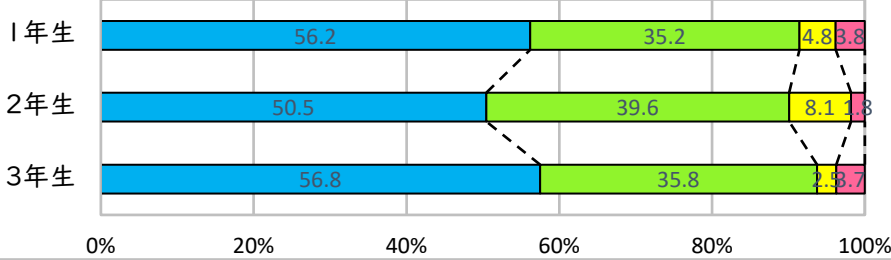
【社2】社会の授業は、分からないことや疑問に感じたことを振り返るための手立てがある。



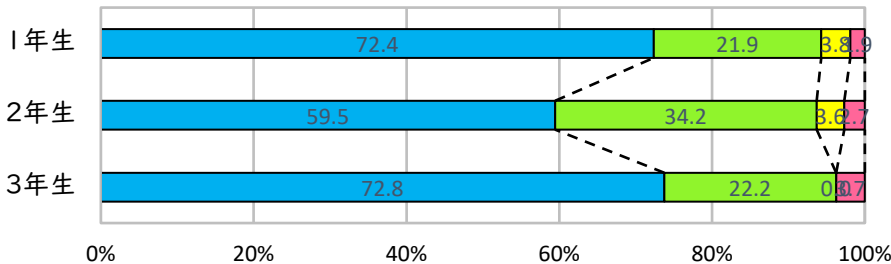
【社3】社会の授業は、新しい疑問や興味が湧き、自ら学習したいと感じる。



【社4】社会の授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。



【社5】社会の授業では、状況に応じた教具(画像・動画・プリント・道具など)が利用されていて、学習しやすい。



《成果》【社5】の項目では、各学年で9割以上の肯定的意見がみられる。ICT機器を用いた視聴覚教材や、一人一台端末を用いた指導方法が効果的であったと考えられる。

《課題》【社3】の項目では、他項目に比べて肯定的な意見が低い傾向があり、生徒が自ら学びたいと思える指導、主体的な学習を促すための手立てに課題がみられる。

《今後の取組》ICT機器を効果的に用いた指導は継続して行っていく。また、話し合い・討論活動をより充実させることで、生徒の興味・関心・考えを深める機会を充実させ、生徒の主体性を促す指導の充実に努めていく。

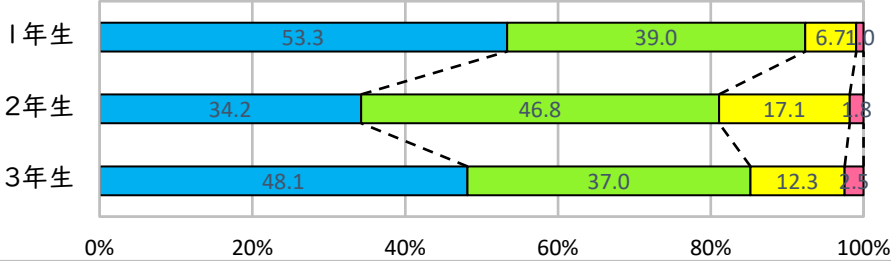
1 そう思う

2 ややそう思う

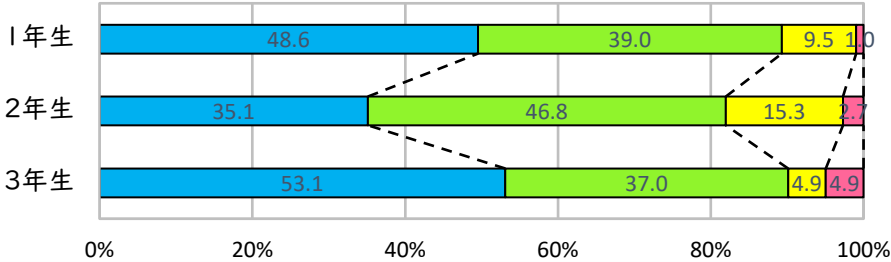
3 あまりそう思わない

4 そう思わない

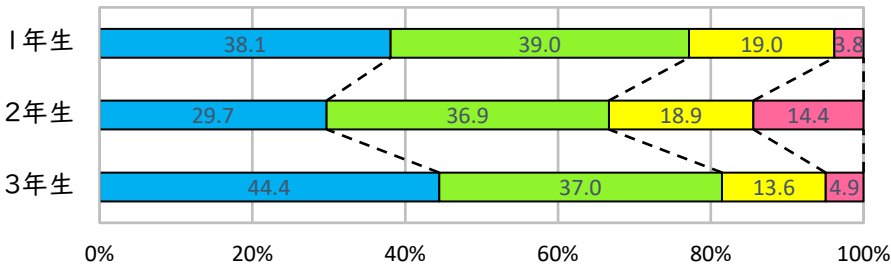
【数1】 数学の授業では、授業の始めに1時間の流れを把握することができ、学習しやすい。



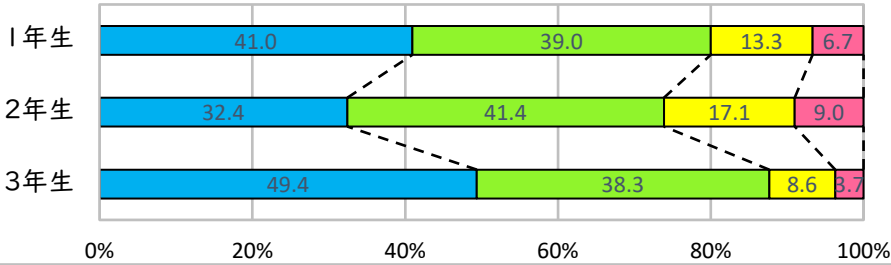
【数2】 数学の授業は、分からないことや疑問に感じたことを振り返るための手立てがある。



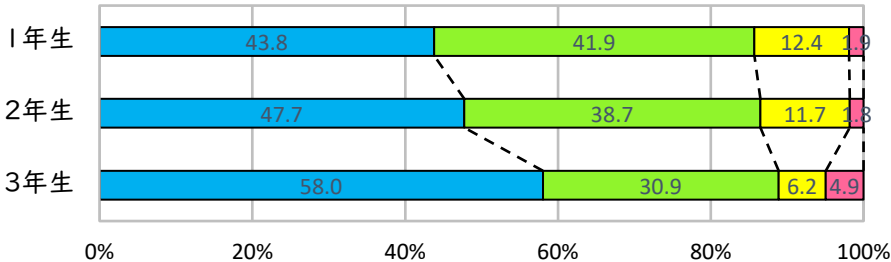
【数3】 数学の授業は、新しい疑問や興味が湧き、自ら学習したいと感じる。



【数4】 数学の授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。



【数5】 数学の授業では、状況に応じた教具(画像・動画・プリント・道具など)が利用されていて、学習しやすい。



《成果》

【数1・2・5】の質問では肯定的な意見が8割をどの学年も超え、見通し、振り返り、教材の活用が効果的にできており、授業の構造化が進んでいるといえる。

《課題》

自ら学習したいと感じるような指導、話し合いを通じて自分の考えを深める機会の充実に関して、課題があるといえる。

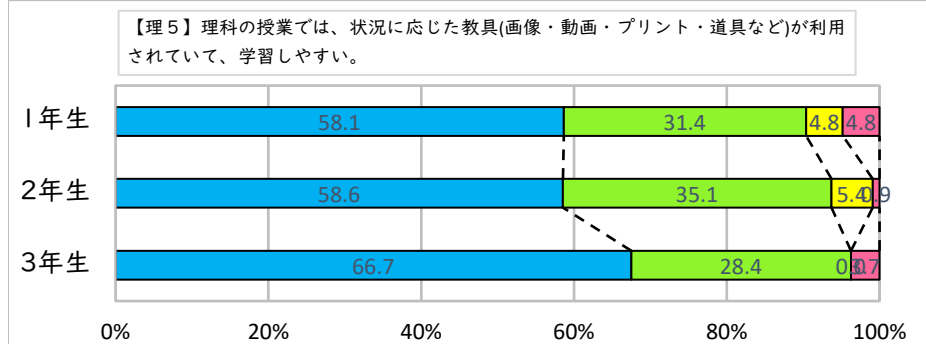
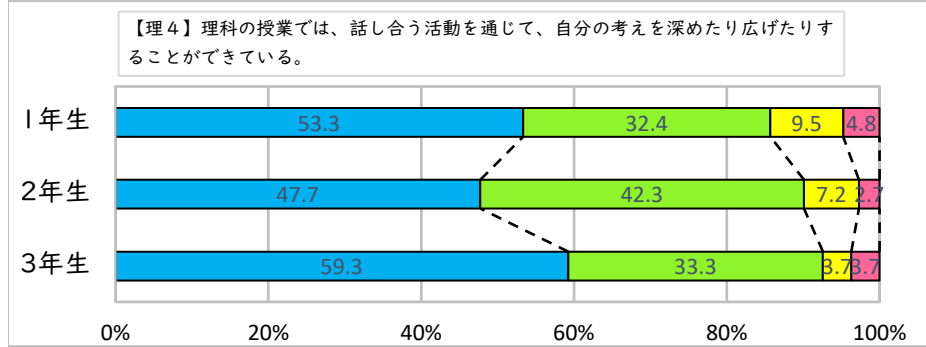
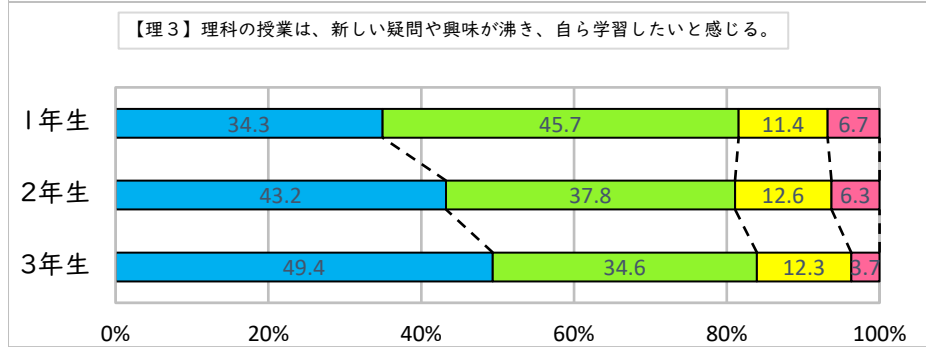
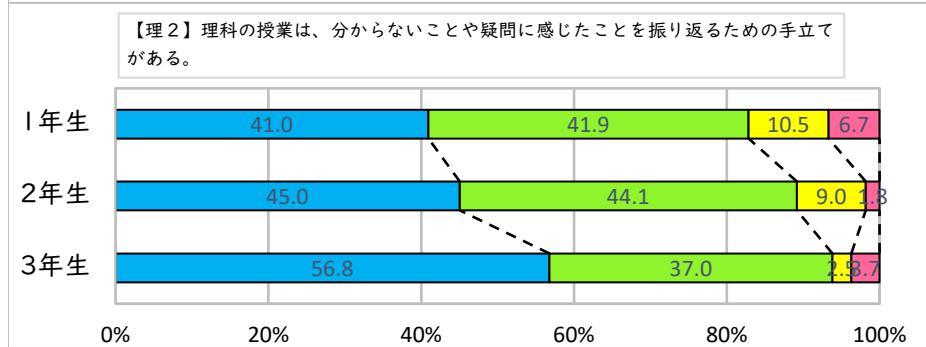
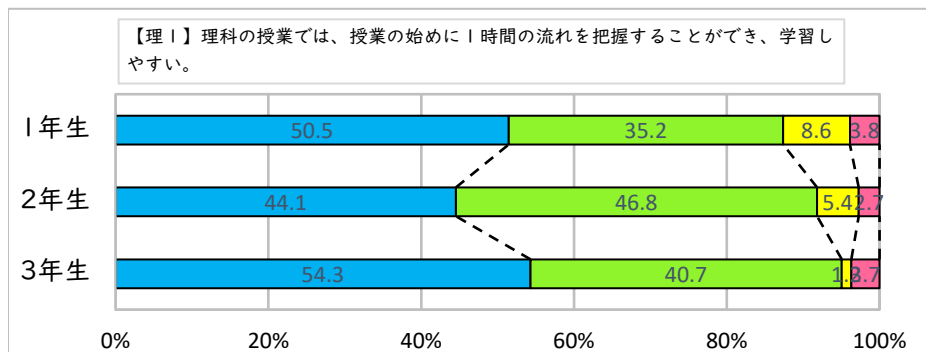
《今後の取組》

話し合い活動の校内のユニバーサルデザイン化に従い、話し合いの機会を充実させる。また、ICTなどを効果的に活用し、自ら学びたいと思うような取り組みを進めていく。

令和 5 年 7 月
【生徒授業】学校評価アンケート結果 《理科》

調布市立第八中学校

1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない



《成果》

【理4】の質問では、どの学年でも約9割の生徒が肯定的な意見になっており、全ての学年を通じて授業内に話し合い活動を取り入れた結果だと考えられる。

《課題》

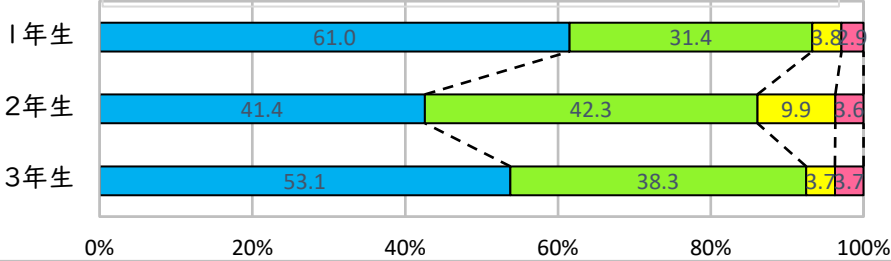
【理3】の質問では、どの学年も1の割合が半数以下となっており、授業内での生徒が主体的に学習する場が少なく、新しい疑問や興味が沸くことが少なくなってしまった。

《今後の取組》

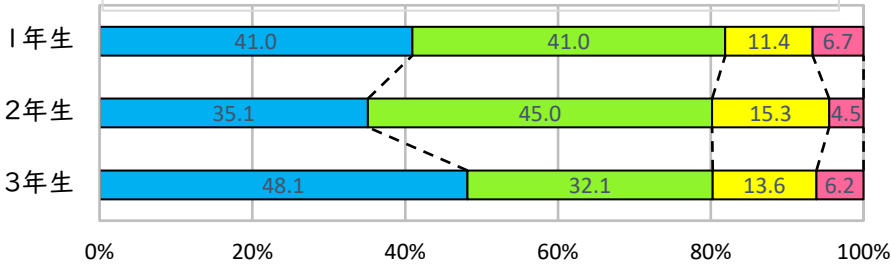
既習内容と日常生活との繋がりを意識させるために、どのようなところで活用されているのか紹介し、今後どのような活用が考えられるか思考させる。



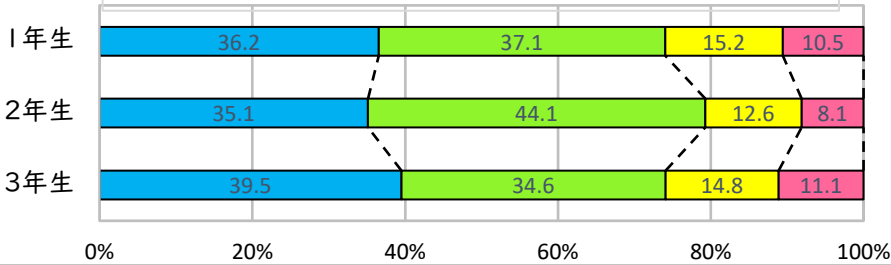
【英1】英語の授業では、授業の始めに1時間の流れを把握することができ、学習しやすい。



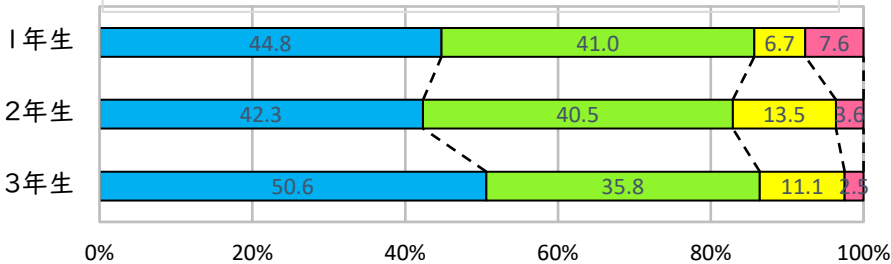
【英2】英語の授業は、分からないことや疑問に感じたことを振り返るための手立てがある。



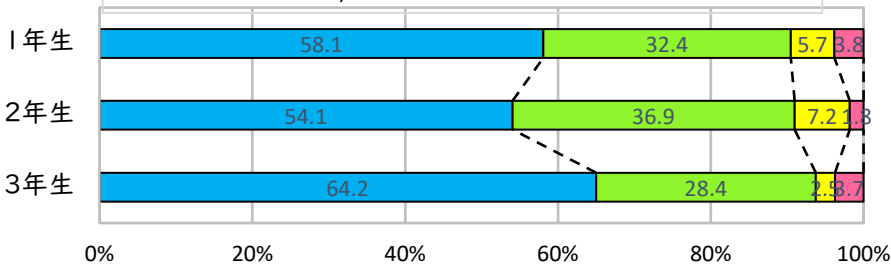
【英3】英語の授業は、新しい疑問や興味が湧き、自ら学習したいと感じる。



【英4】英語の授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。



【英5】英語の授業では、状況に応じた教具(画像・動画・プリント・道具など)が利用されていて、学習しやすい。



《成果》

【英1、4、5】では「そう思う」「ややそう思う」という意見が80%を超えている。授業の流れの提示、活動ごとの振り返りなど授業の構造化が進んでいるといえる。またChromebookを用いた活動やデジタル教科書、動画教材など様々な教具を用いた授業の成果である。

《課題》

【英3】では「そう思う」「ややそう思う」の割合が他の項目と比べると少なくなっている。今後は、場面や題材設定を工夫し、生徒にとってより身近な話題や場面における状況設定を行うことで、生徒の興味関心を引き出す。

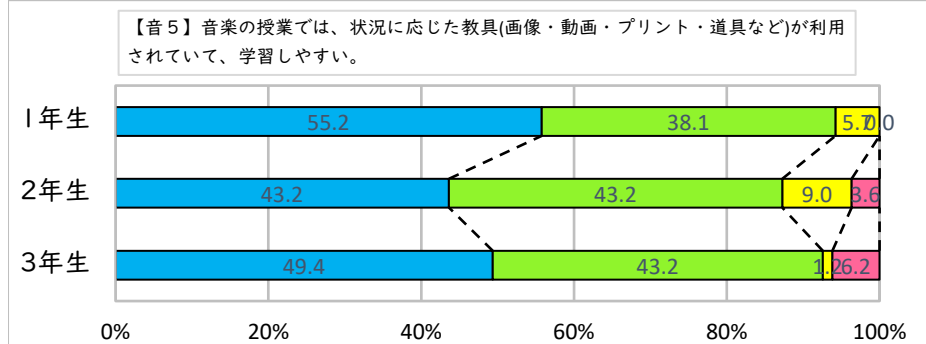
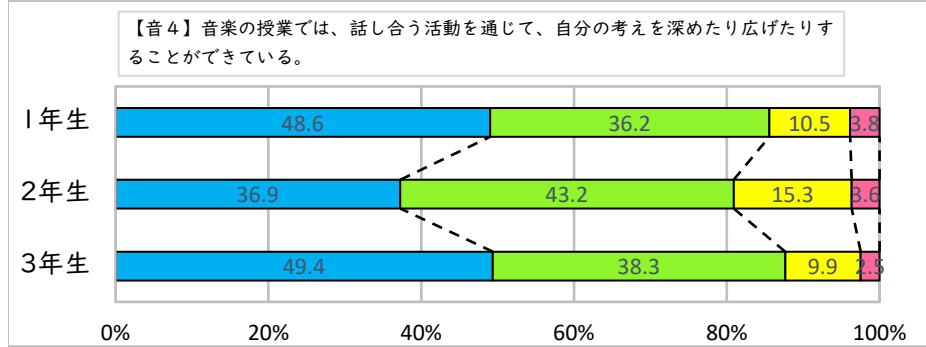
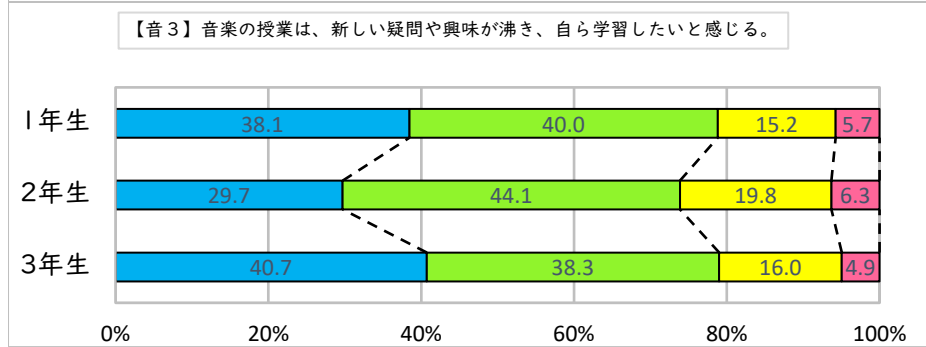
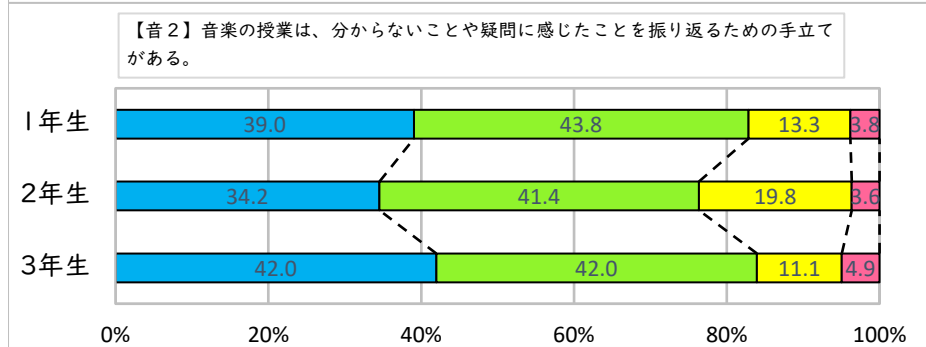
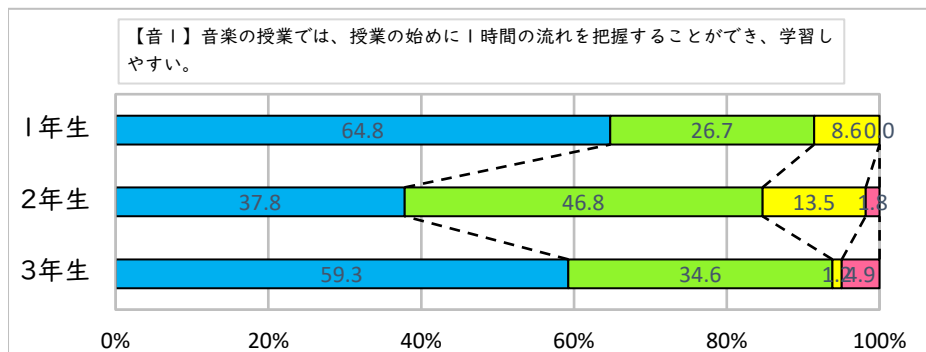
《今後の取組》

様々な教具をより効果的に用いて、ペアやグループなど様々な活動形態を多く取り入れていく。それを通して、多くの人の意見に触れ、認め合いながら、英語で表現する機会を増やしていく。

令和 5 年 7 月
【生徒授業】学校評価アンケート結果 《音楽》

調布市立第八中学校

1 そう思う 2 ややそう思う 3 どちらでもない 4 そう思わない



《成果》

【音1・4・5】の質問では、どの学年も肯定的な意見が8割を超えている。これは授業に見通しを持って取り組み、話し合い活動や教材の活用が効果的にできており、授業の構造化を進められたと考えら

《課題》

【音2・3】の質問では、他の質問より肯定的な意見が少なくなっている。疑問に対する振り返るための手立てや、自ら学習したいと感じるような指導が課題である。

《今後の取組》

振り返りシートを活用し、生徒の疑問点に対するアドバイスを行う。また、生徒が興味関心をもてるよう授業研究を行い、発問や授業内容の改善を通して自ら学びたいと思うような指導になるよう努める。

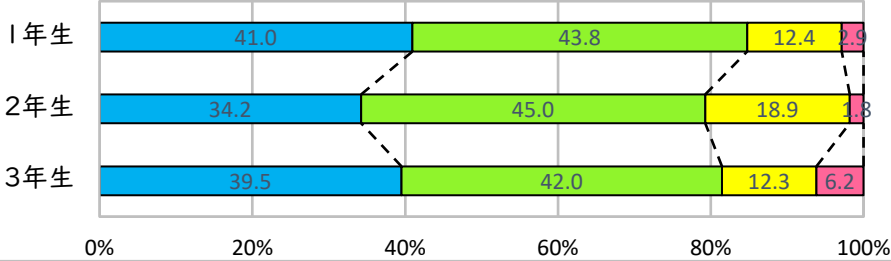
1 そう思う

2 ややそう思う

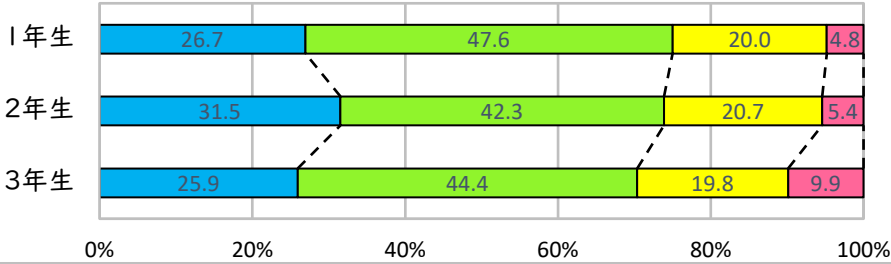
3 あまりそう思わない

4 そう思わない

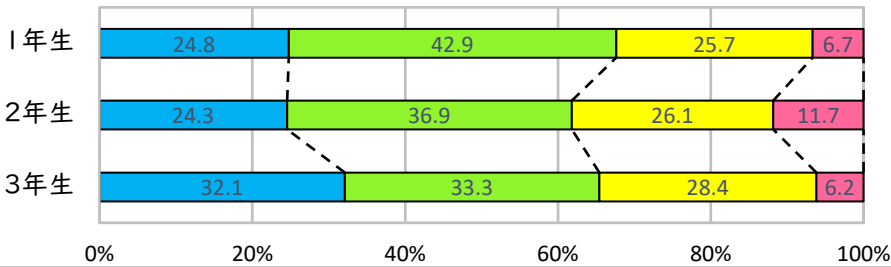
【技1】技術の授業では、授業の始めに1時間の流れを把握することができ、学習しやすい。



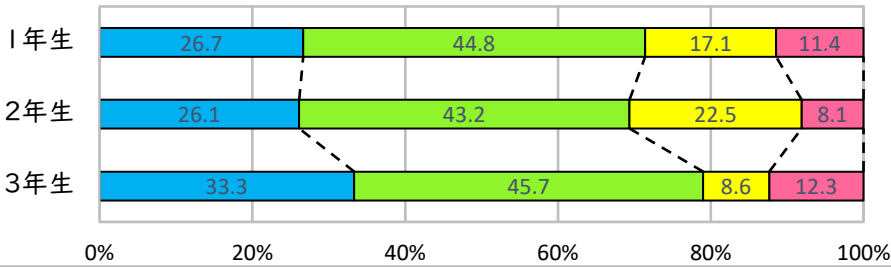
【技2】技術の授業は、分からないことや疑問に感じたことを振り返るための手立てがある。



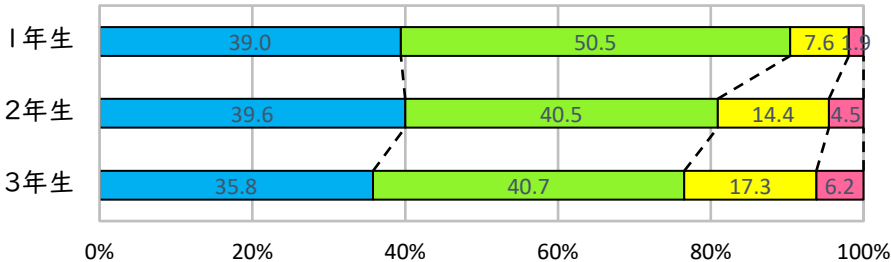
【技3】技術の授業は、新しい疑問や興味が湧き、自ら学習したいと感じる。



【技4】技術の授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。



【技5】技術の授業では、状況に応じた教具(画像・動画・プリント・道具など)が利用されていて、学習しやすい。



《成果》

少ない授業時間の中で、苦手な生徒の対応など、一定の成果があった。

《課題》

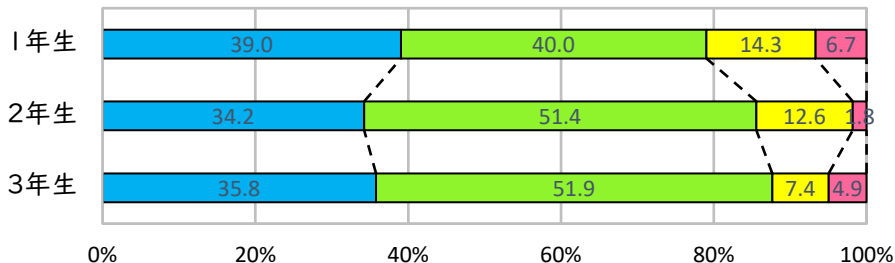
自ら考えて意欲的に取り組ませることに課題がある。
話し合い学習の取り組みにも課題がある。

《今後の取組》

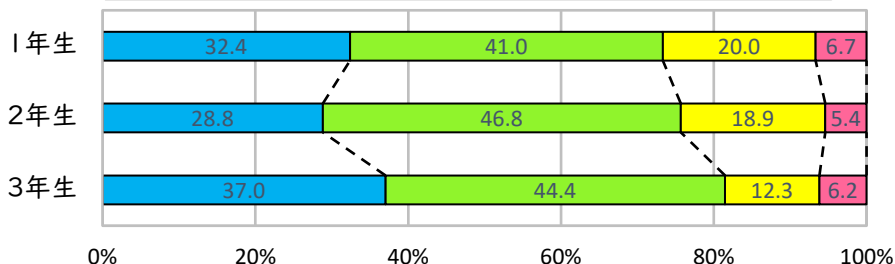
課題を克服し達成感の得られるように、グループ活動や個別指導を取り入れる。



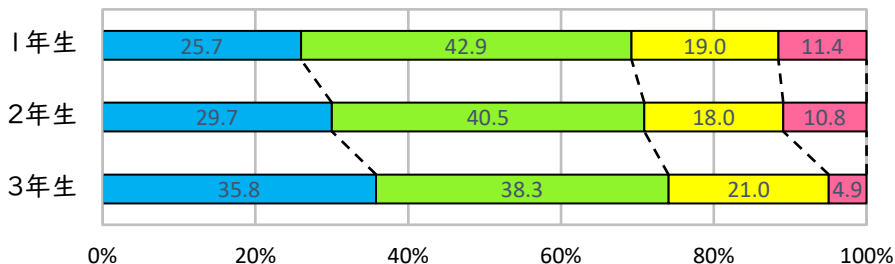
【家1】家庭科の授業では、授業の始めに1時間の流れを把握することができ、学習しやすい。



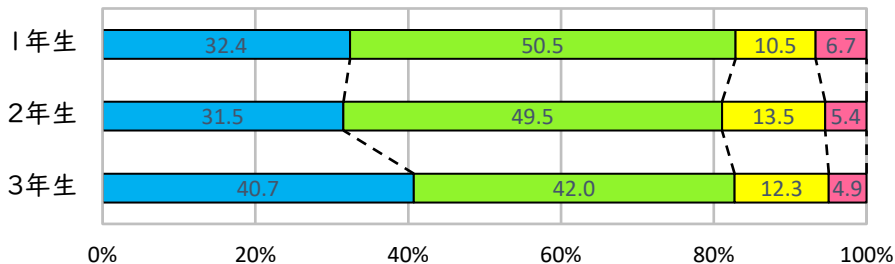
【家2】家庭科の授業は、分からないことや疑問に感じたことを振り返るための手立てがある。



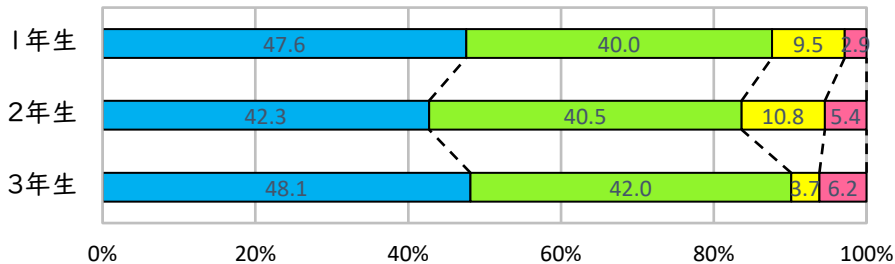
【家3】家庭科の授業は、新しい疑問や興味が湧き、自ら学習したいと感じる。



【家4】家庭科の授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。



【家5】家庭科の授業では、状況に応じた教具(画像・動画・プリント・道具など)が利用されていて、学習しやすい。



《成果》

【家1・4・5】では、肯定的な意見が約8割を超え、1時間の授業の流れを確認し、グループ学習など積極的に取り組む姿勢がみられた。

《課題》

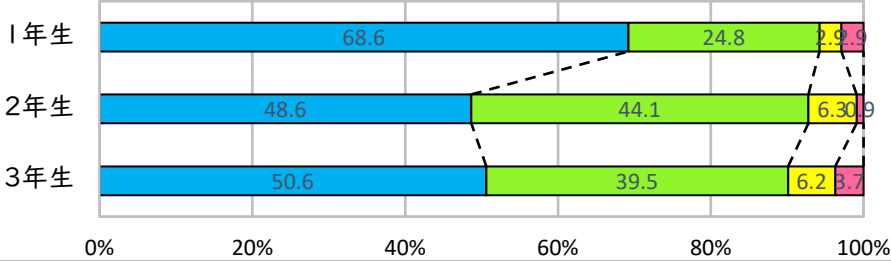
【家2・3】では、じっくりと考える時間の確保をどうするか、少ない時間の中での工夫が必要と考える。

《今後の取組》

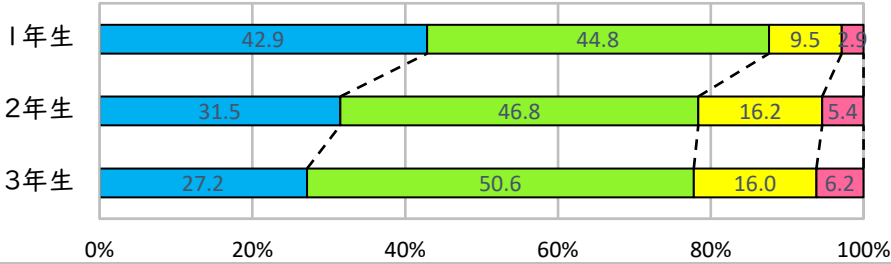
自分の生活に生かせることを意識した課題設定やグループ学習と個人での取り組みのバランスを更に工夫していきたい。



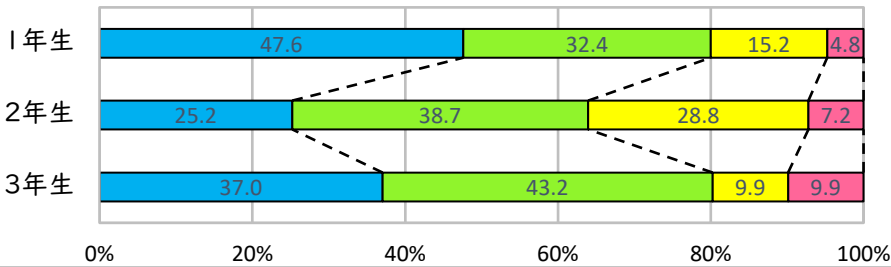
【美1】美術の授業では、授業の始めに1時間の流れを把握することができ、学習しやすい。



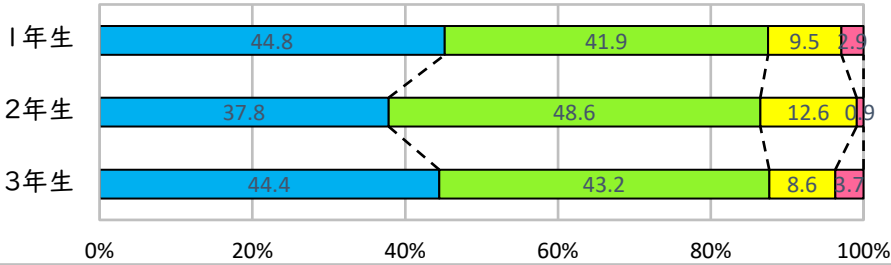
【美2】美術の授業は、分からないことや疑問に感じたことを振り返るための手立てがある。



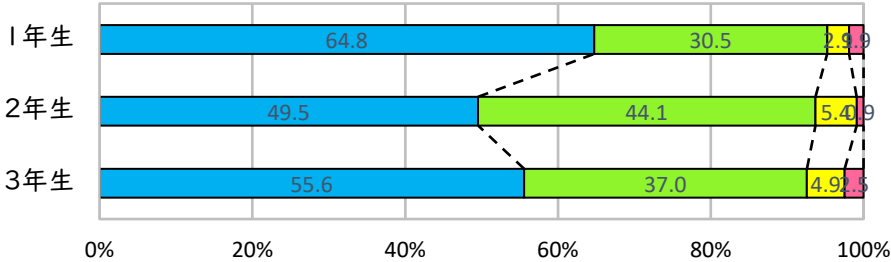
【美3】美術の授業は、新しい疑問や興味が沸き、自ら学習したいと感じる。



【美4】美術の授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。



【美5】美術の授業では、状況に応じた教具(画像・動画・プリント・道具など)が利用されていて、学習しやすい。



《成果》

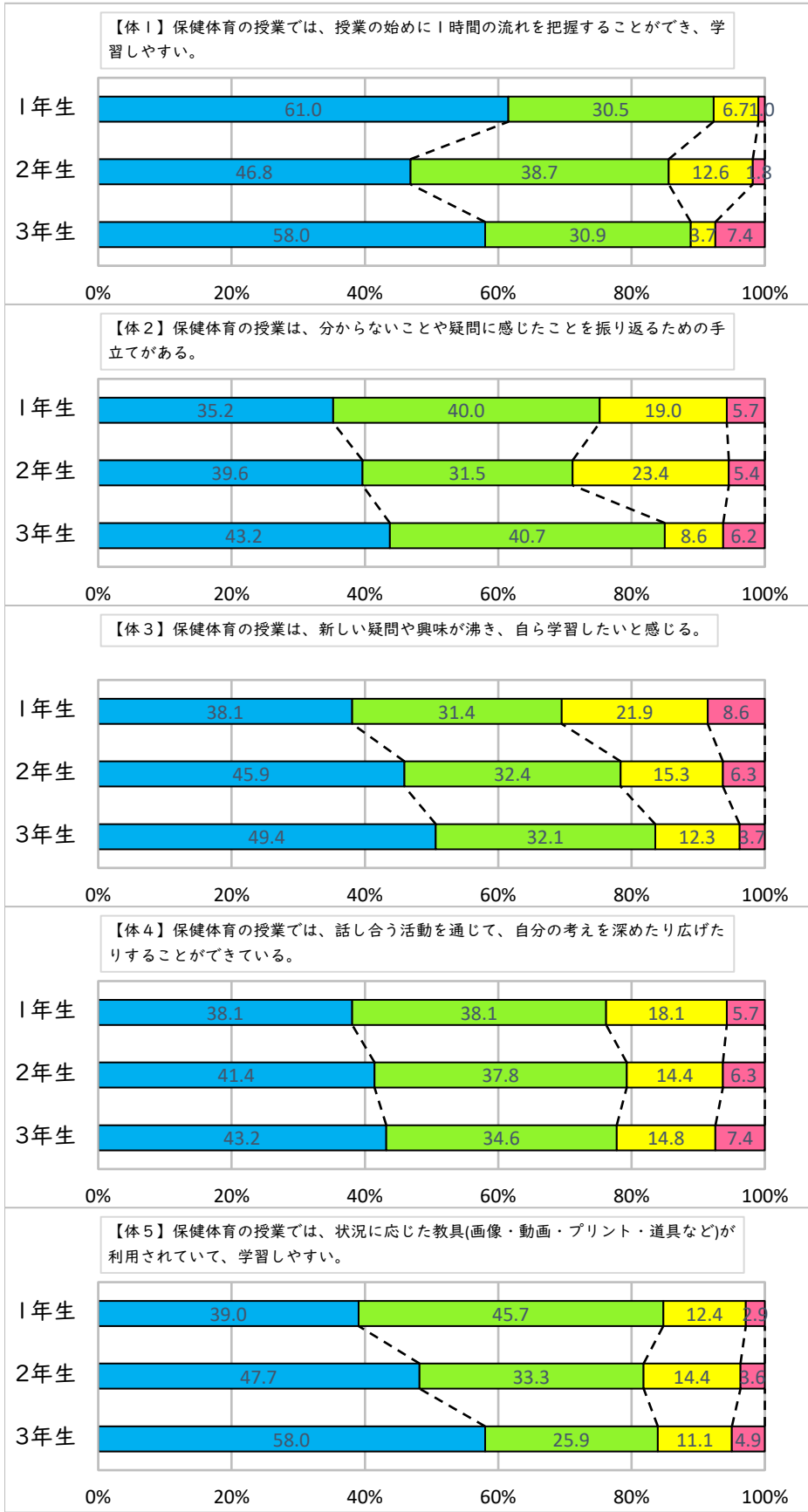
美1.4.5について80%以上の生徒が肯定的な考えを持っている。そのため授業の構成に関しては今行っているものを継続する。

《課題》

美2.3に関して80%を切るものがある。授業前と後の活動に手を入れる必要を感じる。

《今後の取組》

授業内で完結することなく、生活の中で広がっていく授業を設計していく。



《成果》

・[質問1]について、授業の始めに目標と1時間の流れを提示することでどの学年も90%程度達成することができている。

《課題》

・質問[2.3.4]について80%を下回っている。

《今後の取組》

・授業の振り返り、自ら学習したいと思えるような授業内容の工夫、自分の考えを深めたり、広げたりする場面の設定を増やす。